

産業科学研究所 万博プロジェクト研究について

名古屋学院大学 EXPO 2005
プロジェクト研究の紹介

趣旨と目的

1997年6月、博覧会国際事務局(BIE)総会において、2005年に名古屋市東部、愛知県瀬戸市を主会場とする国際博覧会(愛知万博)が開催されることが認定されました。この数年、とりわけ万博開催が会場候補地(海上の森)の自然環境の破壊につながるかをめぐって賛否両論が繰り返され、また、開催決定後も、環境アセスメント、会場の分散化、会場アクセスと交通基盤整備、および開催費用、財政負担と経済効果のバランスなど、さまざまな問題が議論され、注目されています。今後、この「愛知万博」がどのような方向で展開するか、依然不確かな部分もありますが、ともかくこれによって、この瀬戸市を中心とした地域周辺の21世紀に向けた地域づくりがこの万博開催を柱に展開することになったことだけは確かだと思えます。

これは、この瀬戸市を中心とする地域周辺に、きわめて大きく、多様な効果をもたらすものと考えられます。そこで、われわれは、EXPO2005がこの地域周辺にできるだけ多くのプラス効果をもたらすようその展開を見守っていくために、このプロジェクト研究を企画し、1998年4月より研究調査活動を開始しました。

基本テーマ

「愛知万博」が地域へ及ぼす効果の大きさや広がりおよびその問題性を勘案し、さらに参加メンバーのあいだにおける問題関心や研究方法の多様性に配慮し、以下にかかげる4つのテーマを柱にし、それぞれを有機的に関連づけることにより、プロジェクト研究全体を推進することとしています。

- ①万博の基本構想と「自然との共生」
- ②瀬戸市周辺の地域振興と地域開発
- ③中部圏および愛知県・瀬戸市周辺の産業および地域経済へ及ぼす波及効果
- ④地場産業(陶磁器産業)と瀬戸の産業文化の活性化

基本プラン

本プロジェクト研究では、2005年の開催に向け、4つの段階を通して研究・調査活動や政策提言を推進していくことを考えています。

まず第1段階であった1998年度には、研究のための体制づくりをおこなうとともに、基礎的な調査研究や研究会の開催を進めてきました。ことに、11月に開催したシンポジウム「地域の経済社会と愛知万博」開催効果と地域発展のあり方をめぐって「は大きな反響を呼びました。詳しくは、1998年度の研究結果報告書をご覧ください。

第2段階(1999年度・20003年度)では、博覧会事業の進行にあわせて具体的な調査研究活動を推進し、研究成果の公表と積極的な政策提言を展開する予定です。第3段階(2004年度・2005年度)では、博覧会の開催や運営への参画も考えておられます。そして、第4段階(2006年)では、博覧会開催後の地域発展を視野に入れて開催効果を総合評価し、さらにこの地域周辺の自然、文化、社会および経済に関する総合的研究の促進につなげていく予定です。

研究の特色

◎地域性

全体的には、もちろん中部圏、愛知県そして名古屋市の動向を視野に入れるが、とくに瀬戸市およびその地域周辺を中心に調査研究をおこなう。

◎長期性

準備段階、開催時期そしてアフター万博期と約10年以上にわたって、かつ効果を測る尺度として、長期的視点に立って調査研究を継続する。

◎総合性

本学の豊富な研究スタッフを生かして、万博に対する多様な立場とその研究に必要な、多様な専門分野から総合的に調査研究を推進する。

このEXPO2005プロジェクト研究に興味や関心のある方は、産業科学研究所までお問い合わせください。



名古屋学院大学「教育振興資金」 募金にご協力を

会員各位には、益々「隆昌のごとく」お慶び申し上げます。

この度、名古屋学院大学から本同窓会に対して、「教育振興資金」の募金活動について協力依頼がございました。今回の募金の趣旨は同封されています。「募金趣意書」に述べられていますが、大学は厳しい財政状況下の中にあるけれども、教育環境の整備充実が大学発展の条件であるとし、それらの事業資金の二助として、「教育振興資金」の募金活動を行いたい。については、理解と協力をお願いしたいとの内容でありました。

本同窓会理事会において、「募金協力の件」について協議した結果、母校発展の二助になると理解し、募金の趣旨に全面的に賛同することを了承いたしました。つきましては、会員各位におかれましては、厳しい経済環境にあるとは存じますが、募金の趣旨に深いご理解をいただき、出来る限りで結構ですので、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

平成11年10月

名古屋学院大学同窓会会長 占部憲一

同窓会の理事・監事が下記のように選任されました。

1999年度 名古屋学院大学同窓会 理事・監事

| | | | | |
|----|--------|-----|---------|------------|
| 理事 | 占部 憲一 | 71E | 会長 | 東邦アストリー(株) |
| 理事 | 山本 茂一 | 70E | 副会長 | 名古屋車輛(株) |
| 理事 | 伊藤 博義 | 70E | 副会長 | 凸版印刷(株) |
| 理事 | 塚本 久 | 70E | | 愛知県議会議員 |
| 理事 | 長瀬 徳八郎 | 71E | 事務局長 | 古川設備工事(株) |
| 理事 | 下村 直己 | 73E | 副会長 | (株)下栄 |
| 理事 | 笠井 修 | 73E | 広報委員長 | エーワ織工(株) |
| 理事 | 山田 弘一 | 76E | | 山田青果(株) |
| 理事 | 古川 雅章 | 78E | 総務委員長 | 和興(株) |
| 理事 | 伊藤 暁 | 77E | 支部担当委員長 | 伊藤製作所 |
| 理事 | 須崎 英晴 | 78E | 事業委員長 | 品野台開発(株) |
| 理事 | 河本 浩詞 | 80E | | (有)オトカワモト |
| 理事 | 安藤 之人 | 80E | | 丸屋商事(株) |
| 監事 | 水谷 文徳 | 69E | | (株)三油商会 |
| 監事 | 生駒 豊 | 70E | | 名古屋学院大学 |